

水防災教育における 令和6年度実施内容と令和7年度予定について

【目次】

1. 減災協議会における学校防災教育の位置づけ
2. 令和6年度の利根川下流河川事務所の防災教育の取り組み
3. 令和6年度試行授業の内容
4. 学生サポーター制度のご紹介
5. 令和7年度の水防災教育実施予定
6. 防災教育ポータルサイトのご紹介

1. 減災協議会における学校防災教育の位置づけ

利根川下流域大規模氾濫に関する減災対策協議会の取り組み項目の(1)逃げ遅れゼロに向けた迅速かつ的確な避難行動のための取り組みの項目として、「小中学校における水防災教育等の促進、あわせて必要に応じ教員に対する講習会も実施する」があります。そこで、利根川下流河川事務所では各地域での水防災教育の実施支援を行っています。

利根川下流域大規模氾濫に関する減災対策協議会 取り組み項目

(1) 逃げ遅れゼロに向けた迅速かつ的確な避難行動のための取り組み

1-15,16 小中学校における水防災教育等の促進、あわせて必要に応じ教員に対する講習会も実施する

(2) 洪水氾濫による被害の軽減、避難時間の確保のための水防活動の取り組み

(3) 一刻も早い生活再建及び社会経済活動の回復を可能とするための排水活動の取り組み

学校から家庭へ広げる防災教育

近年、全国各地で多発する豪雨災害を受け、国土交通省では減災の取り組みを社会全体へ推進していく取り組みの1つとして、防災教育の支援を行っています。小学校で行われる防災教育では、児童が「自分自身の命を守ること」を学び、「家族や地域の人々の命を守ること」を考え、家族や地域の方へ伝えることで、地域の防災力向上へ繋がることを期待されています。



国土交通省

地域の皆さんの命を守るために、防災教育を支援しています



地域について知る

自分にできることは？

ステップ1
授業で児童が学ぶ

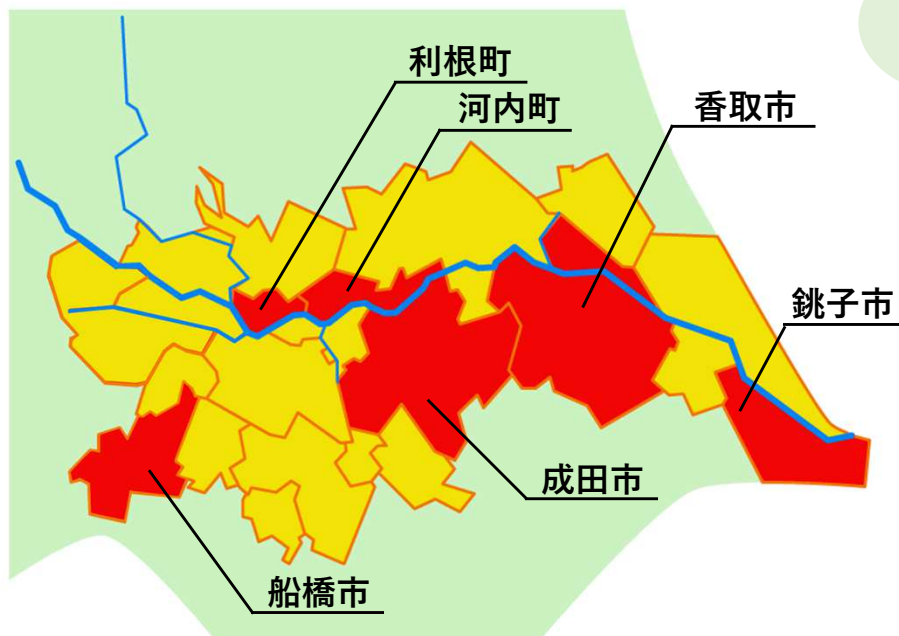


ステップ2
児童が家族へ広げる



ステップ3
地域の防災力向上

2. 令和6年度の利根川下流河川事務所の防災教育の取り組み



令和6年度の試行授業支援自治体

6つの
自治体・
小学校で

水防災教育授業の実施支援を行いました！

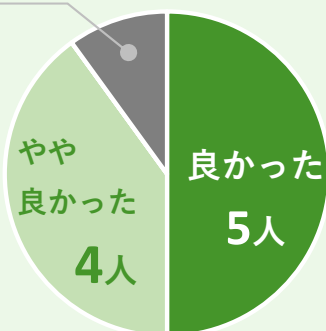
令和6年度は、河内町・かわち学園、利根町・利根小学校、鉾子市・椎柴小学校、香取市・竟成小学校、成田市・豊住小学校、船橋市・小室小学校と連携し、水防災教育の試行授業を実施しました。



令和6年度香取市立竟成小学校での授業の様子

試行授業を実施した先生からの感想

良くなかった1人



(2025.02時点N=10)

主なコメント

- フォトモンタージュを用いたことにより水害の状況を視覚的に捉えることができた。
- タブレットを使った活動を取り入れることで、洪水についての理解が高まったと感じた。
- 自分たちの住んでいる地域を流れる利根川を題材に学ぶことができた。
- 45分と限られた時間で、命を守ることにつながる大切な授業を子どもたちの印象に残る形で実施することができた。
- 本授業を通して水のメリットとデメリットについて、児童が実感を伴った理解ができるように授業内容の工夫がほしかった。

3. 令和6年度試行授業の内容 学習テーマと実施形式

各学校と事前に打ち合わせを行い、各学校の学習状況や希望に沿った授業内容の検討及び水防災教材の作成を行い、学校の希望に合わせた実施形式で授業支援を行いました。

No	学校名	学年	実施日	授業数	学習テーマ	実施形式
1	河内町立 かわち学園	5	2024/10/9	全1コマ	① わたしたちの地域と利根川について知ろう。	①
2	利根町立 利根小学校	4	2024/10/2	全1コマ	① 利根町と水害の歴史を知ろう。	①
3	銚子市立 椎柴小学校	4	2024/9/11	全1コマ	① わたしたちの地域で水害が起ったら、どうなるか考えてみよう。	③
		5	2024/5/30	全1コマ	① 洪水の被害や洪水に備える工夫 ～わたしたちの利根川の工夫～	③
		6	2024/11/1	全1コマ	① 私たちの地域の流れる水の働きと土地の変化 ～どんな水害の危険があるか知ろう～	②
4	香取市立 竟成小学校	4	2024/9/19	全1コマ	① わたしたちの地域で水害が起ったら、どうなるか考えてみよう。	③
		5	2024/9/19	全1コマ	① 洪水の被害や洪水に備える工夫 ～わたしたちの利根川の工夫～	③
		6	2024/10/3	全1コマ	① 水害が起こりそうなとき、わたしたちにできることを考えてみよう。	②
5	成田市立 豊住小学校	4	2024/11/25 2024/11/28	全2コマ	① 水害から自分の命を守るために、わたしたちができることを知ろう。 ② 水害が起こりそうなとき、わたしたちにできることを考えてみよう。	③
6	船橋市立 小室小学校	4	2025/1/30	全1コマ	① わたしたちの地域と水害について知ろう。	③

3つの形式で
授業支援を
行いました



2024.10.02
利根町立利根小学校4年生 授業の様子

①事務所職員による防災講座



2024.11.01
銚子市立椎柴小学校6年生 授業の様子

②学生サポーターによる授業



2024.11.28
成田市立豊住小学校4年生 授業の様子

③先生と事務所職員協働による授業

3. 令和6年度試行授業の内容 提供教材(主教材)

各学校との事前打ち合わせを踏まえ、学校ごとに教材をカスタマイズして提供を行いました。利根川下流河川事務所が支援する授業では、水防災教育授業を初めて実施する先生でも授業が進行しやすいよう授業用スライド(パワーポイントファイル)を主教材として提供しています。

過年度授業を基に作成した 授業で使えるスライド

みんなの町を流れる利根川



上流や下流とくらべて、
川のはばが『狭く』なっています

解説内容

(目的)水害の危険性を知る
(資料)布川の狭窄部

黄緑の部分、他の場所と比べて川の幅が狭くなっています。
この場所は布川の狭い場所という意味で『狭窄部』と呼ばれています。

スライドに沿って、授業展開が可能です。
試行授業では、地域に即した教材にカスタマイズして作成！

カスタマイズ事例①

地域に合った 情報の説明スライド

警戒レベルなど全国統一の情報だけでなく、児童がより身近に感じられるよう各自治体から発信される災害情報など(例:近所の避難所看板、自治体HPなど)について解説するスライドを用意しました。

ひなん場所を知っておこう



カスタマイズ事例②

地域に合った 災害リスクの説明スライド

学校との事前打ち合わせを踏まえ、希望する学習内容およびレベルに合わせて各学校の地域の災害リスク(例:土砂災害、氾濫平野などの地形的特徴など)を解説するスライドを用意しました。

土砂災害ってどんな災害？

大雨がふると、地面に雨水がしみこんで、山やがけがぐずれてしまうことがあります。



今年の6月の台風2号をおぼえていますか？
静岡県や長野県では大雨により、土砂災害が発生しました。家や建物が土砂が流れこんだり、建物が押しつぶされたり、押し流され、建物の中にいた人が被害にあいました。

気づいたかな？
当時、香取市でも土砂災害警戒区域に警戒レベル4避難指示が発令されました。

もしかしたら、わたしたちのまわりでも土砂災害が起っていたかもしれないね。

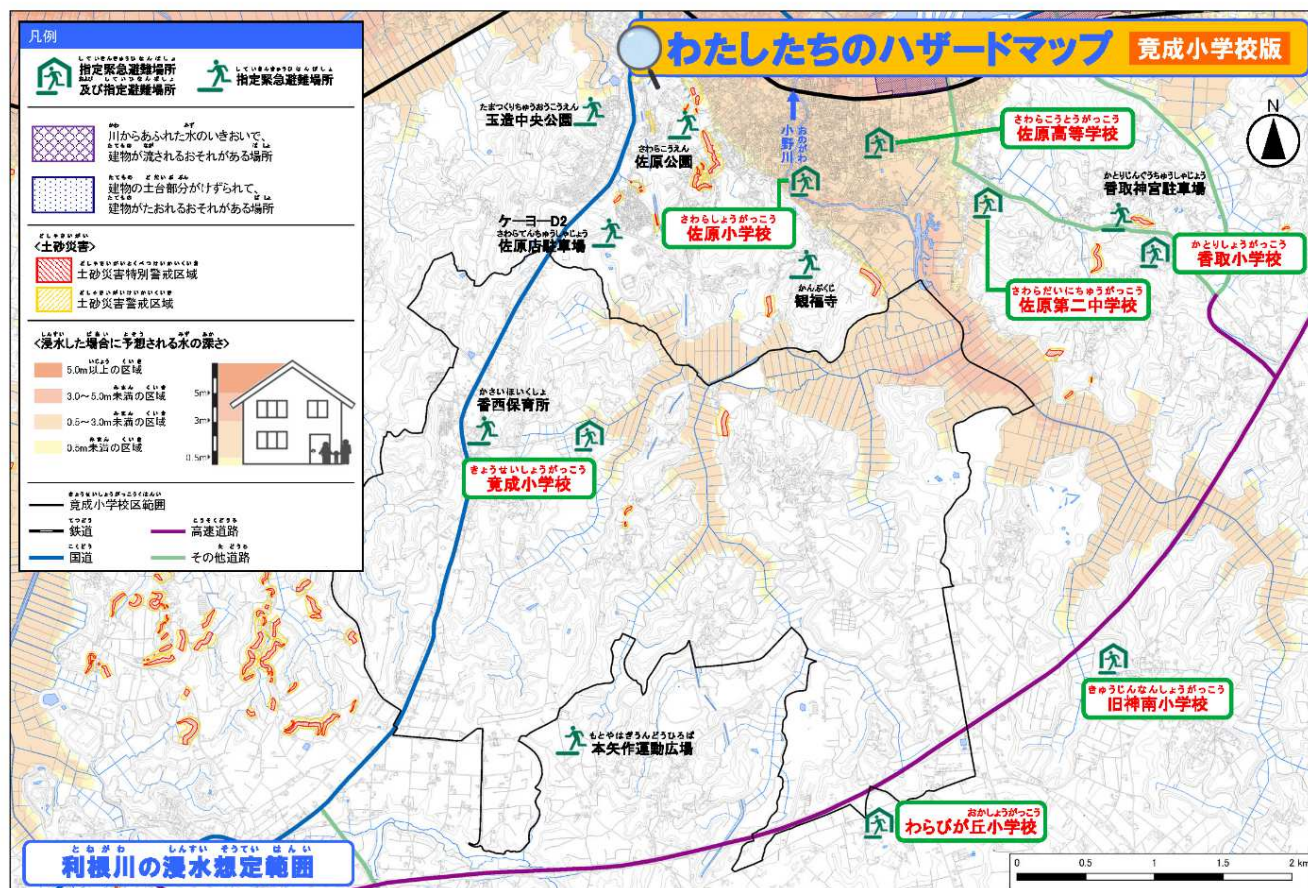
大雨のときは早めにひなんしましょう。
ひなん指示などをみたら、必ずひなんしましょう。



3. 令和6年度試行授業の内容 提供教材(補助教材) ～ハザードマップ～

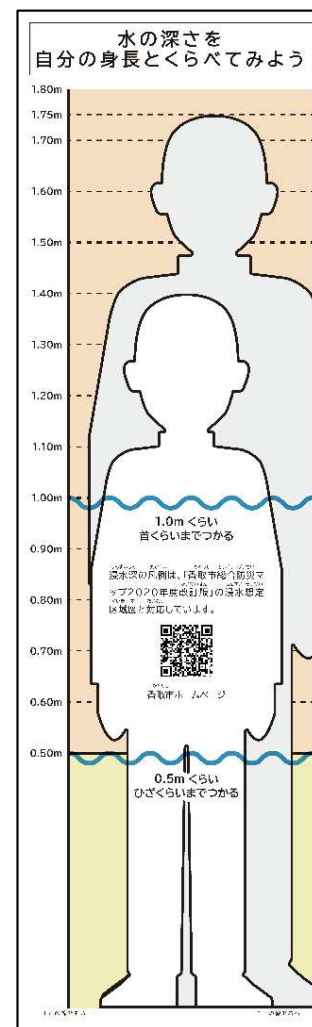
自分たちの住む地域の水害リスクがより把握しやすくなるよう学区拡大版ハザードマップや、ハザードマップで浸水深を確かめた後に、浸水深0.5m、1.0mがどれくらいなのか自分の身長と比較できる身長シートも作成・提供しました。

地域の水害リスクが分かる 学区拡大版ハザードマップ



※ このマップは国土数値情報ダウンロードサービスにて公開されている位置情報に基づいて作成したものです。
必ずしも自治体が公表しているハザードマップと合致するものではありませんので、ご注意ください。

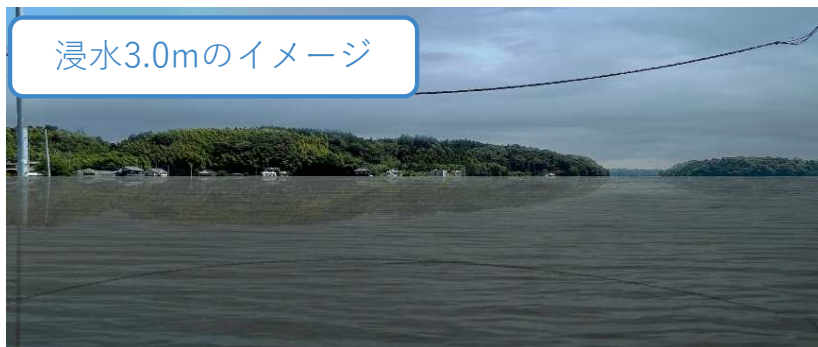
浸水深を体感できる 身長シート



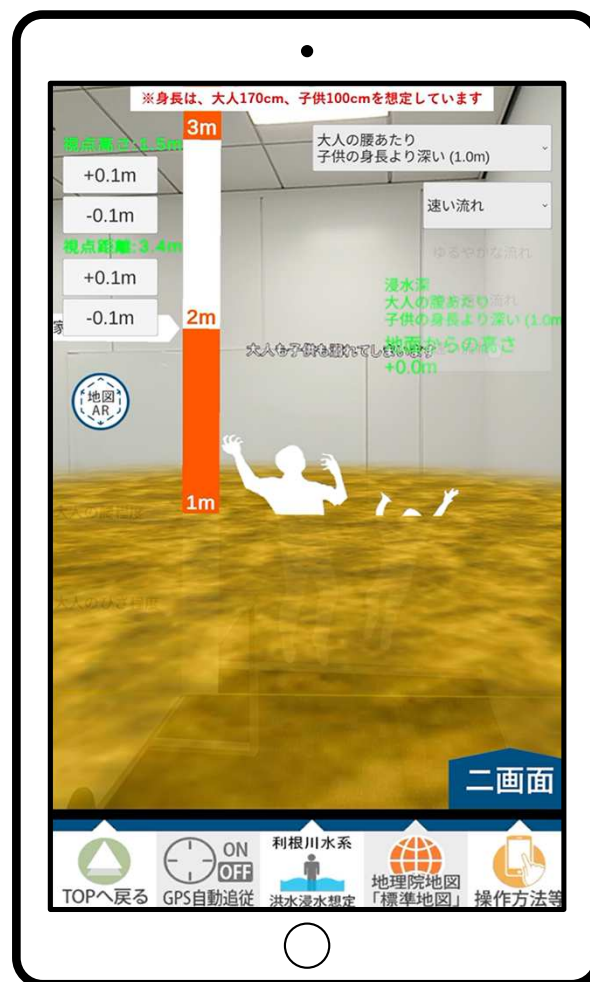
3. 令和6年度試行授業の内容 提供教材(補助教材) ～浸水体験～

児童の水害に対する我が事感を醸成するため、身近な施設や場所での浸水フォトモンタージュを作成・提供したり、タブレットを活用し浸水体験ARを使った授業支援を実施しました。

イメージ写真で見る 浸水フォトモンタージュ



タブレットを使って体験する 浸水体験ARアプリ



利根川下流河川事務所版アプリを作成しました！アプリをインストールしたタブレットの貸し出しを行っています。

ポイント

- ✓ 濁流と流速の表現により、浸水した状況をリアルに体験
- ✓ 浸水深と流速の関係によって画面上のシルエットが変化し、浸水の危険を実感



3. 令和6年度試行授業の内容 提供教材(補助教材) ～マイ・タイムライン～

マイ・タイムラインとは、いざという時に自分は「いつ」「何をする」かを時系列でまとめたものです。地域の水害リスクや災害情報などについて学んだあとに、まとめ学習としてマイ・タイムラインを作成するのがおすすめです。

小学生でも簡単に作成できる 簡易版マイ・タイムラインシート

「マイ・タイムライン」をつくってみよう！

みんなが考えた、「台風が来る」してから「川の水位が上がる」までの考えがマイ・タイムラインだよ！

市・区・町・村 地区 家

参考となる水位観測所 観測所 緊急避難場所等

川やまわりの状況

主な備え

正しいのはどちら？A・Bタイプ

3日前

2日前

1日前

当日

5時間前

3時間前

0時間

地震の場合

水害の場合

▲自宅に持って帰って家族と作り込むことで、いざという時に役に立ちます。

タブレットの活用を想定した デジタル副読本（ポータルサイトにて公開予定）

1. マイ・タイムラインとは

マイ・タイムラインって
どういう意味なんだろう？

マイ・タイムラインとは、
マイ＝私の、タイムライン＝予定・時間割
という意味です。

地震とちがって、水害は天気予報などを見て、起こる前に準備すること
ができます。水害に備えて、「いつ」「だれが」「どのような」行動をする
かを決めたものがマイ・タイムラインです。

じしん 地震の場合
とつぜん起こるので
避難までに時間がない

すいがい 水害の場合
天気予報などを見て
避難の準備ができる

マイ・タイムラインがない場合

マイ・タイムラインがある場合

数日前

数時間前

数分前

避難指示だ！
早く逃げなさい

避難指示が
発表されました

避難指示だ！
今すぐ逃げよう

どこに逃げればいいんだ？
えっと持ち出し品は…

助けて！

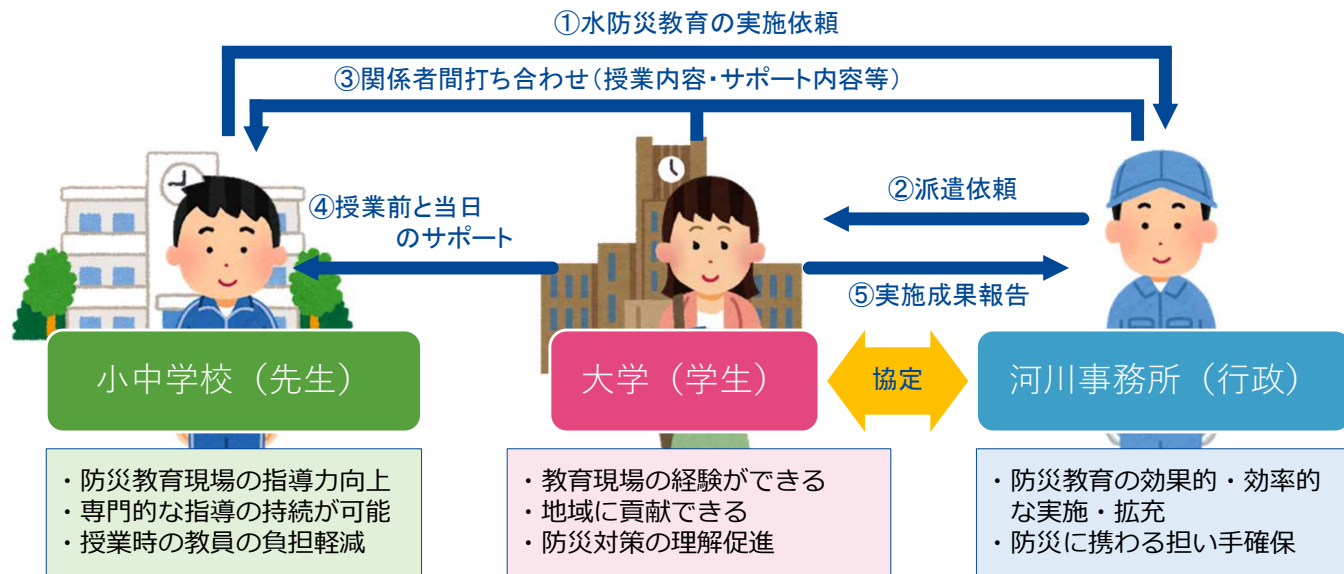
無事に避難できた！
準備しておいてよかったね

はんらんはんらん
氾濫発生

▲タブレットで使用すると、動画などを視聴することができます。
また、印刷して紙教材として使用することも可能です。

4. 学生サポーター制度のご紹介 概要

利根川下流地域全域の小中学校等に水防災教育の実施、拡充を浸透させていくには、河川事務所の取り組みや小中学校等の自主性に依存してただけでは限界があります。そこで、水防災教育を効果的・効率的に推進するために地域の大学と連携し、防災を学ぶ大学生が『支援者』として防災教育に参加して授業のサポートを行う学生サポーター制度を導入・開始しました。



★本制度の導入により、小中学校等の防災教育は専門的知見を活かした授業が行えるとともに、授業のサポートや教材の提供により、その後の学校現場での指導力向上や負担軽減など防災教育推進への貢献が期待できます。更にはサポートを担う大学生の教育現場の経験という貴重なスキルアップの機会が得られるもので、関東地方整備局管内では初の取り組みとなります。

令和5年9月 学校法人加計学園千葉科学大学と水防災教育における連携協力に関する協定を締結！

制度スタートの先駆けとして、令和5年9月に学校法人加計学園千葉科学大学と利根川下流河川事務所とで「水防災教育における連携協力に関する協定」を締結いたしました。

令和5年度より、銚子市立椎柴小学校6年生および香取市立竟成小学校6年生の授業にて、千葉科学大学の学生による授業サポートを実施しています。



令和5年9月調印式の様子



銚子市立椎柴小学校での授業の様子 8

4. 学生サポーター制度のご紹介 令和6年度活動実績

令和6年度では、銚子市立椎柴小学校6年生及び香取市立竟成小学校6年生の授業で学生サポーターが授業を実施しました。大学生との交流を通じて、子供たちが改めて地域と防災について考えるきっかけづくりとなりました。また学生サポーターも小学生と直接かかわることで、地域の防災の取り組みに貢献するとともに、自らの学びを実践的に活かす機会となりました。

香取市立竟成小学校6年生(24.10.03実施)

全1時限の水防災教育授業において、学生サポーターからマイ・タイムラインについて説明を行い、児童と一緒に簡易版マイ・タイムラインを作成しました。また、水害への備えについてクイズ形式で考え、学生サポーターによる実演形式で解説を行いました。

【担任の先生からのコメント】

子供たちとコミュニケーションを取りながら授業をしようとしていたことが伝わってきた。丁寧な説明もあり災害の経験が少ない子供たちにも分かりやすく楽しい授業になっていた。

学生サポーター2名で授業の45分全てを担当



銚子市立椎柴小学校6年生(24.11.01実施)

全1時限の水防災教育授業において、学生サポーターと一緒に自分たちの地域の土地や地形の特徴を学習し、住んでいる地域の危険な場所を考え地図に書き込むグループワークを実施しました。

【担任の先生からのコメント】

学生サポーターが一生懸命授業を行っていたので、児童が興味関心を持って学習に臨んでいた。学生が4人いたので、児童のグループ活動に学生も入り、地図の着目して欲しいポイント等を助言しながら一緒に話し合いを行っていたのも良いと感じた。

学生サポーター4名で授業の45分全てを担当



5. 令和7年度の水防災教育実施予定

2024年12月に協議会構成員に対して希望調査を実施し、令和7年度は中学校1校、小学校14校にて試行授業を実施予定です。水防災教育授業実施に向けて、以下のスケジュールで打ち合わせ等を実施し、支援内容の調整・教材作成等を進めていきます。

令和7年度授業希望校調査結果(令和6年12月実施)

令和7年度授業希望校一覧

中学校

龍ヶ崎市(城西中学校)

小学校

取手市(取手小学校・藤代小学校・白山小学校)

潮来市(日の出小学校・牛堀小学校)

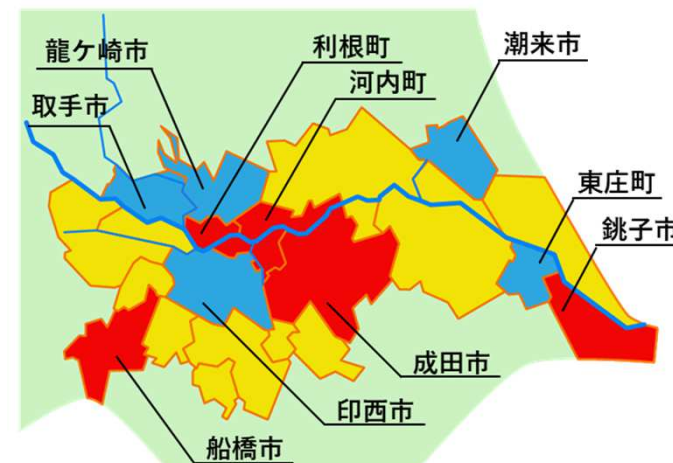
河内町(かわち学園) 利根町(利根小学校)

銚子市(椎柴小学校) 船橋市(小室小学校)

成田市(豊住小学校・下総みどり学園)

印西市(大森小学校・本埜小学校) 東庄町(東庄小学校)

※下線・太文字は新規自治体・学校



令和7年度の授業支援自治体

- **赤地域**：R5またはR6より継続実施
- **青地域**：令和7年度新規実施

今後の予定

令和7年8月頃
担任の先生との打ち合わせ

個別に授業・教材に対する具体的な要望をヒアリング
実施日時や実施方法等の調整

要望を踏まえた教材の作成

個別打ち合わせで得られた意見をもとに、各学校向けに教材をカスタマイズ作成

水防災教育授業の実施

防災教育ポータルサイトでの事例共有

6. 防災教育ポータルサイトのご紹介

8月頃公開予定

利根川下流河川事務所では、水防災教育の実施状況や教材などを蓄積し、地域へ共有・継承することを目的とし、減災対策協議会ポータルサイトの1コンテンツとして防災教育ポータルサイトを公開予定です。



!! 掲載予定コンテンツ

授業概要

教材

授業のダイジェスト動画※

学生サポーター向け情報

※授業のダイジェスト動画は、学校関係者限定公開を予定しています。 11

6. 防災教育ポータルサイトのご紹介

基本情報や学習内容などから授業事例を調べることができます！

自由にダウンロード・活用できる



2023.11.8

香取市立竟成小学校 6年生

学習テーマ：水害が起こりそうなとき、
わたしたちにできることを考えてみよう

概要を見る

教材を見る

動画を見る

- ① 前回の授業の復習
- ② マイ・タイムラインについて知る
- ③ 台風が発生してから川の水が氾濫するまでと警戒レベルについて学習する
- ④ 私はいつ何をするか考える～個人ワーク～
- ⑤ 私はいつ何をするか考える～グループワーク～
- ⑥ 水害への備えとして有効な手段を知る
- ⑦ 学習のまとめ

基本情報	令和5年度	6年生	全2時限	通常授業	-
学習内容	総合的な学習	避難に関する学習	-	-	-
教材ツール	マイ・タイムライン	-	-	-	-



どんな授業が行われているのか概要を知ることができる

●市立▲小学校6年生 2時限目(全2時限)の内容

実施日 : 2023.11.99

学習テーマ : 水害が起こりそうなとき、わたしたちにできることを考えてみよう。

利根川下流域での防災教育の事例

①前回の授業の復習
前回の復習として、水害から命を守るために、事前に備えておくことの大切さに触れた。

②マイ・タイムラインについて知る
水害が発生する前に予測でき、水害が発生する前に行動できることを説明した。そこで、この授業ではマイ・タイムラインの作成を通じて、水害への備えについて考えることを説明した。

③台風が発生してから川の水が氾濫するまで警戒レベルについて学習する
台風が発生してから、川の水が氾濫するまでには時間に余裕があることを説明した。また、水害の危険性を伝える警戒レベルについて学習し、簡易版マイ・タイムラインシートに書き込みながら学習を進めた。

使用した教材

- 授業用スライド
- 簡易版マイ・タイムラインシート
- マイ・タイムライン作成用シール

④私はいつ何をするか考える～個人ワーク～
川が氾濫するまでに、いつ・どんな行動をとるべきか、簡易版マイ・タイムラインシートにシールを貼り付けながら考えさせた。

⑤私はいつ何をするか考える～グループワーク～
④で考えた行動について、理由も含めてグループ水害への備えの前シール以外があれば、

⑥水害への備えとして有効な手段を知る
水害への備えとして正しいものを

授業概要紹介資料



授業のダイジェスト動画